

夏休み子ども教室開催

町田市消費生活センターでは、今年も夏休みに小学生を対象とした教室を実施しました。それぞれの教室を紹介します。

経済ゲーム

～レストラン・オーナーになってみよう～

小学校4年生から6年生を対象に行いました。一人ひとりがレストランのオーナーとなり、店の経営をするすごろくゲームに挑戦しました。レストランの運営には、資金の調達・経費の支払・売上の計上等、様々な要素が運営にどのような影響を及ぼすのか、クイズを交えて楽しく学びました。参加者からは「台風など、いろいろな理由で物の値段が変わることが分かった」「クイズに答えるのが意外と難しかったけど楽しかった」等の感想が寄せられました。



経済ゲーム



おこづかいゲーム

おこづかいゲーム

～すごろくゲームでお金の使い方を学ぼう～

小学校1年生から3年生を対象に行いました。参加者はグループに分かれて「すごろくゲーム」をします。サイコロの出た目によって夕食の買い物をしたり、バスに乗って出かけたりしますが、それらの費用はリーダー（講師）から貰ったお小遣い（おもちゃのお金）を使います。また、その記録をお小遣い帳につけていきます。ゲームでは約束事があります。それは、お小遣いをリーダーから貰うときは「ありがとうございます。」と言って両手で受け取ることです。貰ったお小遣いを目的を考えながら使い、それを記録しながらお金を大切に使うことを学びました。

親子で小麦粉・牛乳でうどんをつくろう

～牛乳うどん・町田野菜の炒め物をつくろう～

親子で参加の教室です。6家族・14名の参加がありました。食べることは、楽しいと子どもの頃から体感してほしいとの、講師の願いを込めた町田の郷土料理とも言えるうどんを、塩水の代わりに牛乳を使って打ちました。楽しそうに粉をこね足踏みでこしをだす子ども達。町田野菜を使った炒め物も作り、包丁さばきはお母さんがアドバイスと親子の呼吸はぴったりでした。暑い中3時間の教室でしたが、「楽しかった」「家でも作る」の声を嬉しく聞きました。



牛乳うどん



玉ねぎの皮で染色

玉ねぎの皮で染色

～ランチョンマットを作ろう～

12名の参加がありました。料理をする際には捨てられてしまう玉ねぎの皮をグツグツと鍋で煮出して染液を作りました。さらしの布に輪ゴムを巻きつけるのは大変でしたが、どんな模様になるか想像しながら楽しく作業しました。染めて、ミョウバンで媒染した布の出来上がりは色味くっきり、個性豊かなオリジナル作品となりました。

相談室



「暮らしのレスキューサービス」

契約トラブルに注意！

トイレが詰まった、鍵が開かない、ブレーカーが壊れた、ゴキブリが出たなど生活のトラブルは突然起こります。慌ててインターネットでレスキュー業者を調べて依頼したら高額な料金を請求されたという相談が多く寄せられています。

《事例1》

4日前にトイレが詰まり、インターネットで修理業者を検索し、サイトに「修理代250円～」と書いてあった業者に修理を頼んだ。業者が薬剤使用と高圧洗浄を行い詰まりは解消した。修理代金は12万円になると言われ払ったが、すぐにまた詰まった。再び修理を依頼したが断られ、別の業者に依頼したら簡単に直った。直らなかったのに高額代金を払った事が納得できず返金してほしい。(30代)

《事例2》

昨夜、2台のブレーカーが故障して電気が止まりインターネットで「ブレーカー故障2000円～」とあった修理業者に連絡した。業者はブレーカー2台を交換する必要があると言い60万円の見積もりを提示した。了解し、修理業者が作業を始めた。「交換せずに修理で直るとわかったが代金は60万円変わらない」と言った。仕方なく払ったが後で考えると不審だ。返金してほしい。(70代)

《事例3》

2日前、ゴキブリが出てインターネットで駆除業者を検索し「追加料金一切なし500円～」と書いてあった業者に電話をした。1匹捕えた後に風呂場の天井を見て、卵もある、このままだと爆発的に増えて感染症になると言われ、15万円の薬剤散布を

勧められて契約した。2万円だけ払ったがこれ以上払いたくない。(20代)

《アドバイス》

事例1、2、3いずれも自ら事業者を呼んでいますが、サイトに表示された金額と請求額に相当な開きがあります。電話時には作業内容や価格が明確に示されず現場で決定したこと等から、クーリング・オフが適用になると考えられます。それぞれ事業者へクーリング・オフの通知をしました。事例1は事業者と連絡が取れず話し合いができませんでした。事例2は減額することで合意し、一部返金されました。事例3は支払い済の代金だけを払い、様子を見ました。急なトラブルが発生すると慎重な判断ができないうえに、不安を煽られ契約を急かされると、高額でも契約してしまう事例が多くあります。払ったお金を取り返すことは極めて困難です。料金や作業内容に納得できない時は、その場で払わずにセンターへご相談ください。

凍結すると破裂の危険があります!!

缶入りノンアルコールビールを冷蔵庫の切り替え室に保存していたら、缶が破裂し、庫内が破損したとの相談がありました。

缶入りの炭酸飲料やノンアルコールビールなど炭酸ガスを含んだ飲料は、冷えすぎて凍結すると、炭酸ガスを含んだまま凍り体積が増加して破裂する恐れがあります。冷凍室はもちろん、冷蔵庫の冷蔵室の冷気の吹き出し口近くや、切り替え室には保存しないで下さい。冷蔵冷凍専用製品でないペットボトル飲料も同様です。

《消費生活センター 今後のイベント予定》

「その香り困っている人がいます～化学物質過敏症を学ぶ～」

10/5(木) 午後1時～午後3時 町田市民フォーラム4階 第2学習室

「石けん教室～1個の石けんから地球環境を考える～」

10/13(金) 午後1時～午後3時 町田市民フォーラム3階 テスト室・準備室

【お申込み先】 町田市イベントダイヤル 042-724-5656

【お問合せ先】 町田市消費生活センター 042-725-8805